

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	四天王寺和らぎ苑		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日		令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 3日		令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 2月 3日		令和年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	16施設	(回答数) 17施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員として理学療法士を配置していることで、障害の重症度に関係なく、それぞれの子どもの個性や発達、身体状況の変化に応じて、包括的に評価する視点をもっているため、必要な事柄へ臨機応変に対応することができる。	ご家族や訪問先施設からの情報収集による生活全般の把握とともに、個別リハビリ担当者との情報共有により、現状の全身状態や心身機能の把握に努めている。また、相談事項に実際の場面で対応できるよう、活動の時間に合わせて訪問を行っている。	現場での支援者、子どもへの支援と共に、自宅での生活にもつなげることができるよう、ご家族への提案等も行っている。専門性を高めるため、知識や技術の補填のため研修等に取り組んでいく。
2	特に重症心身障害児や肢体不自由児に対する、姿勢や運動発達、呼吸状態や認知、感覚機能、環境評価などを得意としており、環境設定や介助方法の提案、子どもについての情報共有を含めて行い、活動への参加の促進や活動場面での子どもさんの持つ機能が発揮されることを促進することを方針としている。	病態評価の元、呼吸状態など全身状態への配慮や骨折予防に配慮した姿勢設定や介助方法の提案などを行い、医療度の高い重症児に対して安全に活動へ参加できるよう支援している。今後の発達を見据えた提案等に取り組んでいる。	基幹病院や相談支援等関係職種と情報共有を行い、安全に支援を行えるよう支援方針を計画していく。様々な相談内容に対応できるよう、必要な備品等をそろえる、知識や技術の補填のため研修等に取り組んでいく。
3	重症心身障害や肢体不自由のある子どもさんの、成長に伴い生じる脊柱変形や脱臼、関節拘縮、呼吸機能低下や運動機能低下など、二次障害に対して状態の悪化を予防する視点の元、子どもの変化に応じた姿勢保持具の調整や介助方法の提案等行うことができる。	現在生じている二次障害に対応するだけでなく、今後成長に伴って生じる二次障害に対しても予測的に対応し予防できるよう、訪問先施設や保護者との情報共有や具体的なポジショニング方法の提案等を行っている。	個別リハビリ担当者との情報共有を行い、現状の全身状態や心身機能、整形外科的な情報の把握に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問に出ることができる人材が限られている。	経験や知識、技術的な要因で訪問先での様々な相談事に対応することが難しい。	訪問二俣の増加に対応できるよう、人材の育成に取り組む。
2	重症心身障害や肢体不自由児、歩行未獲得の発達遅滞の子どもさんに特化して運営しているため、神経発達症などの子どもさんへの経験が少なく、対応の困難さがある。	神経発達症などの子どもさんへの経験が少ない。	当苑の訪問可能な対象ではないものの、神経発達症に関する知識や情報の収集を行い、発達遅滞のある子どもさんへの訪問の際に対応できるよう取り組む。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 四天王寺和らぎ苑

公表日 令和 7 年 4 月 21 日

利用児童数

令和 7 年 2 月 3 日

回収数 18名/22名中

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	14	2		2		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10	4	2	2		当施設には面談室等の個室のご用意があります。必要に応じて使用させて頂いております。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	18					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	18					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	17			1		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18				・長年関わっていただき、よく分かっているので助かります。 ・子どものことをとても理解してもらえているので安心している。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	16		1	1		訪問時に訪問先施設や担任等の意向を確認し、それを元に個別支援計画の作成を行っております。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			3		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	18					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16			2		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	9	2	1	6		訪問担当者により、訪問後の報告の際に学校や保育園などのご家族の困りごとを聴取し、その場で解決可能な場合はアドバイスや必要な情報提供等をさせて頂いております。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	18					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	2		1		訪問担当者により、訪問後の報告の際に学校や保育園などのご家族の困りごとを聴取し、その場で解決可能な場合はアドバイスや必要な情報提供等をさせて頂いております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18				学校と職員さんできちんと話をして理解してもらっている。	
	18	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1				相談内容については、訪問担当者により、アドバイスや必要な情報提供等をさせて頂いております。また、申し入れに対しては、管理者へ即座に報告を上げる体制をとっているとともに、外部への相談の必要性を感じられた場合の相談場所として、行政窓口についての案内を契約時に行っている。

	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18				
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	18			先生からも分からないことや相談事が聞けるので嬉しいと聞いている。	
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	18				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	18				
非常時等の対応	23	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	3	1	6	個人情報保護の観点から、ホームページやSNSでの情報発信は行っておりませんが、自己評価に関しては、今年度よりホームページ上でご報告する予定です。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	11	3		4	状態異変等のリスクがある子どもさんに関しては、事前にご家族へ状態変化時の対応について確認を行っております。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1		1	訪問の際には、子どもさんの状態変化に常に留意し、害が及ばないよう周辺環境への配慮に努めております。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	18				支援をしてもらうことで学校での生活が安全に過ごせていると思う。
	28	事業所の支援に満足していますか。	18				・必要なタイミングで適切なアドバイスを頂けて助かっています。 ・学校の先生にもわかりやすく伝えてくれるので、安心して通学できている。
自由記載	保育所等訪問支援をして頂けることで、学校の先生にも子どもの姿勢など授業の中でどうすべきかを直接聞くことができ、安心して子どもと接することができますとき、親もこの制度に感謝しています。事業所、学校、家庭で子どもと一緒にみてもらえていると思うと心強いです。ありがとうございます。						

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
四天王寺和らぎ苑		令和 7 年 4 月 21 日				
		利用児童数			令和 7 年 2 月 3 日 回収数 16/17施設中	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	15	1		・いつもとても分かりやすく説明して下さっています。 ・限られた時間の中で取り組み可能なストレッチを教えてもらっています。 ・歩行のことや食事のことについて分かりやすく教えて頂きました。 ・とても分かりやすく丁寧で助かっています。	ご意見ありがとうございます。 引き続き務めさせていただきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	15	1		・とても満足しています。 ・非常に満足しています。 ・自傷行為に関しての事例がありませんのか、もう少しアドバイスが欲しかったです。	ご意見ありがとうございます。 当苑の訪問支援員は理学療法士であり、自傷行為に関連する具体的な事例の情報が少ない状況にありますので、今後情報の収集に努めたいと思います。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	15	1		・いつも適切で助かっています。 ・非常に満足しています。 ・自傷行為に関しての事例がありませんのか、もう少しアドバイスが欲しかったです。	ご意見ありがとうございます。 当苑の訪問支援員は理学療法士であり、自傷行為に関連する具体的な事例の情報が少ない状況にありますので、今後情報の収集に努めたいと思います。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	15	1		・毎回、車椅子の調整を児童に合わせて丁寧にして下さるので、毎回困りごとが解消しています。 ・ブローンボードによる足の痛みが軽減されました。 ・座りやすい椅子を作って下さり、とても助かりました。	ご意見ありがとうございます。 引き続き務めさせていただきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	15	1		・大変満足しています。 ・大変満足しています。 ・用品を作って下さったり、アドバイスを頂きありがたいです。	ご意見ありがとうございます。 引き続き務めさせていただきます。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・いつもありがとうございます。季節ごとに身体の硬さや成長期の関係で身体が変化中、介助方法をどのようにしたら良いかいつも的確にアドバイスを頂き感謝しています。そのアドバイス（活動内容）を日々学校生活の中で取り組み実施しています。来年度弟が入学予定となっておりますので、宜しくお願い致します。 ・いつも大嶋先生に訪問して頂き感謝しております。これからも引き続き宜しくお願い致します。 ・いつも子どもたちのためにご支援ご協力賜り、誠にありがとうございます。 ・日程が決まった後、保護者と優先課題などを確認して当日を迎えました。内容によって保護者が来校することもあり、保育所等訪問支援で来校された先生と三者で確認できる場にもなって良かったです。 ・毎回、補装具の調整をしてもらいとても助かっています。こちらにも、技術的、知識的に学ぶべきことは、ご指導頂ければお互いに成長できると思っていますので忌憚のないご意見を下さい。 ・最初の方は歩行、食事のこと、椅子を作って下さったり、とても助かりました。歩けるようになり、自傷行為が出てからそちらが主な困りごとになったので、自傷に関しては事例が少ないのか、一緒に悩むことが多かったです。保護者と園の円滑なコミュニケーションの橋渡ししとなって頂き、とても感謝しています。 ・訪問日には、いつも丁寧に指導いただいております。質問にも分かりやすく説明して頂きありがとうございます。 ・いつも本当に助かっています。本当にありがとうございます。説明もとてもわかりやすく、わからないことや相談にも丁寧に答えて下さり助かりました。また、来年度も宜しくお願いします。				たくさんのご意見ありがとうございます。障害の重症度に関係なく、それぞれの子どもの個性や成長、身体状況の変化に応じて、呼吸状態や認知、感覚機能、姿勢や運動発達、環境評価などを元に、環境設定や介助方法の提案、子どもさんについての情報共有を含めて活動への参加の促進や活動場面での子どもさんの持つ機能を発揮されることが促進されるように、今後も支援させて頂きたいと思ひます。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
四天王寺和らぎ苑		令和 7 年 4 月 21 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4		個別性の高いご利用者の方に対して、御家族や施設に対して事前の聞き取りや訪問時に実際の場面で評価を行い、必要に応じて揃え適宜対応している。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		利用者数の増加に従って、ニーズに応じて対応できるよう今年度の下半期より人員を増員して対応している。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		業務の状況について、各職員と必要に応じて情報共有を行い、年度の半期ごとに、事業の総括、計画の見直しを行い問題点に関してはそのタイミングで責任者を中心に検討している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	業務の状況について、部門責任者によって各職員と必要に応じて情報共有を行い、改善が必要なことに関しては管理者へ相談を行っている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		現場で活かせる専門職としての知識や技術の補填のため、研修や学会参加など出張で参加できるよう機会が設けられている。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	訪問児童に直接関係する職員間においては、訪問計画内容の共有に加え、訪問前後には必要に応じて情報共有を行っている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	子どもの状況に応じて、機能評価を行い支援へと活かしている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	訪問児童に直接関係する職員間においては、訪問計画内容の共有に加え、訪問前後には必要に応じて情報共有を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	訪問児童に直接関係する職員間においては、訪問計画内容の共有に加え、訪問前後には必要に応じて情報共有を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	訪問児童に直接関係する職員間においては、訪問計画内容の共有に加え、訪問前後には必要に応じて情報共有を行っている。	

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	直接会議に参加できない場合には、担当相談支援員と事前に情報共有を行い関係機関との情報共有を図っている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	必要に応じて、関係各所と直接電話連絡にて情報共有を行っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	移行時には、必要に応じてカンファレンスにて情報共有を行うとともに、御家族を介して移行先の施設と情報共有を行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	2	年1回開催されている、地域の児童発達支援センターや施設等が参加している研修会へ、職員の中の代表が参加し交流を行っている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	訪問担当者により、訪問後の報告の際に学校や保育園などのご家族の困りごとを聴取し、その場で解決可能な場合はアドバイスや必要な情報提供等を行っている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	支援実施中に先生に立ち会ってもらい、その場で内容の共有をしている	
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1	相談内容については、訪問担当者により、アドバイスや必要な情報提供等を行っている。また、申し入れに対しては、管理者へ即座に報告を上げる体制をとっており、外部への相談の必要性を感じられた場合の相談場所として、行政窓口についての案内を契約時に行っている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	個人情報保護の観点から、ホームページやSNSでの情報発信は行っておりませんが、自己評価に関しては、今年度よりホームページ上でご報告する予定。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	2	訪問先施設の都合もあり、訪問後に改めてカンファレンスの場を設けることは行っていないが、訪問中に訪問先職員と情報を共有し、今後の見通しや方向性について議論をしている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	状態異変等のリスクがある子どもさんに関しては、事前にご家族へ状態変化時の対応について確認を行っている。感染症対応が必要な場合は、訪問先の意向を適宜確認し対応している。	訪問時の災害対策等については、現在検討中である。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	身体拘束に関しては、現状そういったケースがないため、今後利用児の状況に応じて検討をする。	